

日本SOD研究会報

特集 丹羽療法 治療レポート

SODを 不妊症などへ利用

鍼灸院の院長にインタビュー

発行元 日本SOD研究会 藤沢
住所 〒154-0012
東京都世田谷区
駒沢 5-13-1-205
TEL. 03-5787-3498
<http://www.sod-jpn.org/>

この度の東北地方太平洋沖地震により、被害を被られた皆様には、心からのお見舞いを申し上げます。また、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

今回はSODを利用している、東京は住吉鍼灸院の院長、栗山先生にインタビュー。口コミなどで評判の鍼灸院です。とくに不妊症の方が次々と妊娠されるとか。SODがその秘訣のひとつと言われ、お話をうかがってきました。

**理由が分からない不妊症
SODで卵巣の状態を改善**

——先生の鍼灸院には不妊で悩まれている方が多くいらっしゃるか。鍼灸院で不妊療法を主にされているところはめずらしいですね。不妊療法をされるようになってきたきっかけは？

「この住吉鍼灸院は開業して5年なんです。その前は別の鍼灸院に勤務していたのですが、その時代は特別に不妊療法はやっていなかったんですが、ただ、鍼やお灸をす

ると自然と妊娠される方が多かったです。というのは、不妊症も含め婦人科系の疾患というのは、体の冷えなどが大きく関係しているからなんです」

——なるほど、鍼やお灸をすると血行が良くなり、体が温かくなりますね。

「そうなんです。鍼やお灸で血行が良くなり、冷えがなくなると妊娠しやすい体になるんです。そのようないことが多かったものですから、開業したときに不妊症の疾患を専門的に施術していくようになったんです。僕自身も子どもが3人います。非常に子ども好きですが、不妊症で悩んでいる方の役に立てればなと思ったんです」

——今、不妊症で悩まれている方が増えていますよね。

「多いですね。特に、子宮や卵巣に何も問題がなく、原因不明とされる方が多いですね。もともと漢方、東洋医療と不妊治療は相性がいいみたいで、西洋医療のクリニックでも漢方と併用されているところも多いですね」

——西洋医療で不妊症の治療となると、検査や薬の副作用など、女性の負担が大きく、大変だと聞きますが。

「そのストレスがまた余計に交感神経を緊張させてしまうので妊娠しにくくなってしまいます。負のスパイラルに入ってしまうがちですね」

——ということは原因の分からない不妊で悩まれている人は、鍼灸、漢方治療にシフトしてみるといいですね。そんななかで先生はSODを使われているとか。どのように？

「SODはそれこそ不妊症の患者さんに使用しています。不妊症の患者さんで、40歳を超えたある程度高齢の方は、卵巣年齢も高くなり、卵胞の周りの卵胞液に活性酸素が増えるらしいんです。そうすると、その活性酸素が卵の質を低下させてしまう。ですからうちの患者さんである程度高齢の方には積極的にSODを勧めています。実際、SODで何人も患者さんが、卵巣の状態が改善されて妊娠されましたよ」

——実際に妊娠されている方が多いようですが、どのように勧めていらっしゃるのでしょうか。

「さすがに初めていらした患者さんにはいきなりは勧めませんね。いいことは分かっていますが、やはり高価なものですから、ある程度うちで鍼やお灸に通っていたら、それでもなかなか結果が出ないよ



住吉鍼灸院 栗山先生

うな方に勧めますね。SODでやってみませんか。あと、不妊症でタイムリミットがある方には、やれることはすべてやりましょうと言って最初からお勧めします。不妊症でも、卵巣に問題があったり、着床環境に問題があったり、個々にいろいろありますから、状態に合わせてお勧めしています。血液

状態があまりにも悪い方には酵素を飲んでもらっています。酵素は毛細血管まで入っていけるので、冷えの改善にもなるし、子宮内膜の状態も良くなるので、着床環境を整えるのにはいいですね。SODは卵の質を良くするために使用し、そのあと着床環境を整えるために酵素を使っています。これも個々に流れが違う場合もあります。が、経済的に余裕のある方には両方合わせて飲んでいただいています。やはり、SODなどは続けてもらわないとどうにもならないです。すから」

リウマチにも鍼灸と SODを併用 今後はうつ病などにも

——先生はいつ頃からSODを使われるように？

「3年くらい前からですね。きっかけは丹羽先生の本を読んだのが最初でした。白血病で亡くなられた息子さんのことを書かれた本で、すごく感動したんです。以前に勤務していた鍼灸院に、がんの患者

さんが、わりに多くいらして、その方たちの施術をしていて、今の西洋医療におけるがんの3大療法というのに疑問を持っていたんです」

——3大療法というと、抗がん剤、手術、放射線治療ですね。

「この3大療法に疑問を抱いていて、その関係の本をいろいろ読むようになったんです。近藤誠先生の『患者よ、がんと闘うな』や、免疫学の安保徹先生の本などを読んでいくうちに、がんや難病に対して、今の西洋医療ではなく、もっと根本的な治療法があるのでないかと思っただけです。僕の鍼の師匠もがんなどの研究をされているんですが、その流れの中で活性酸素ががんなどの原因の元になっているのではないかと。そこからいろいろ本を読んでいくうちに丹羽先生にたどりついたんです。ですから僕もSODは毎日飲んでいきますよ」

——SODを飲まれていて何か変化はありますか？

「もともと体調が悪いということは

ないので大きな変化はないのですが、風邪をひかなくなりましたね。あと、予防と健康維持のために飲んでいきます」

——ほかにどのような疾患の方にSODを勧めていらっしゃるのですか？

「うちの施術としては、鍼、お灸、活法整体などに加えてSODなどのサプリメントを併用しているんですが、特にリウマチなどの患者さんにはSODを飲んでもらっています。けっこう調子はいいようで、ずっと続けて飲んでくれていきますね。膠原病の方にもいいようです。あと、いまはもう亡くなられましたが、がんセンターで余命数か月の告知を受け、手術もなにもできないと見放された60歳くらいの患者さんがいらっしやあって、その方はSODを一生懸命に飲んでくれました。丹羽先生にも実際にお会いして治療を受けられたようです。うちでSODと鍼とお灸を組み合わせて、1年以上も延命されましたね。安らかに逝かれたのでご家族の方も納得してください」

いました」

——先生が使われているサプリメント類は、どのように選んでいらっしゃるのですか？

「以前勤務していた鍼灸院ではものすごくたくさん種類のサプリメントを扱っていたんです。同時に、ものすごい数の患者さんを毎日診ていたものですから、ある程度のデータが取れたんです。1日に200人から300人の患者さんの数ですから、何が効いて、何が効かないか、勉強させてもらいました。基本はSODのようにベースのしつかりしたサプリメントしか使いません。サプリメントもそれぞれ動物実験しかやっていないものや、それすらもしていない、いいかげんなものがたくさんありますよね。そういうのはやはり使わないです。ですから、うちで紹介しているものはちゃんと効果があることが証明されているものだけですから、そんなに種類は置いていません」

——今、SODを使ってみたい、気になる疾患はありますか？

「今、自分が興味のある疾患は、不妊症と自律神経失調症、うつ病などですね。そのなかで手ごたえを感じているのは不妊症なんです。自律神経失調症やうつ病に対してのSODの効果や臨床例が丹羽先生のところにあるとありがたいですね。というのも、あの震災の影響もあると思うのですが、あれ以来、精神的な不安感を訴えてうちに来、精神的な不安感を訴えてうちに来る患者さんがほとんど、8割くらいは不妊症と自律神経失調症やうつ病、不眠症の患者さんが半分以上を占めるようになりましたね。自律神経失調症やうつ病の患者さんは、心療内科にけっこう長い期間通われていて、薬漬けになっている人が多いですね。それでも原因が分からず、治らない、という方がたくさんいらっしやいます」

——治らない不安、薬を飲み続ける不安、不安の連鎖になってしまいますよね。

「お年寄りの方などは山のようにお薬をもらってきますね。あれを飲

むだけでお腹がいっぱいになってしまいます。しかし、これらの疾患は、腰痛や肩こりと違って症状が分かりにくい。個人の感じ方の違いもあるし、目に見えて分からない。現代病としてこれからもっと増えていく病気ですから、SODと鍼灸などを合わせてアプローチしていくといいなと思うんです。そのあたりのSODの実績というか、エビデンスのようなものを知りたいですね。またほかにどのようなものを組み合わせればいいのかも。不妊症に関してのSODは絶対的な自信を持っていますから、次はそちらのほうを知りたいです」

——次回、丹羽先生に聞いてまいります。それまでの宿題ということで、ほかににかSODに関する

◆丹羽先生診察ご希望の方は御紹介、御予約いたします。

※自由診療となります。

丹羽メディカル研究所

☎0120(731)175

もしくは

日本SOD研究会

☎03(5787)3498

まで お電話ください。

ての希望とかございますか？

「患者さんからは飲みにくいとは言われますね（笑）。錠剤にならないのかと。しかし、これも唾液といっしょに服用するから効果があるんですよね。ほかには困ることはまったく見当たらないです。本当にSODと出会えて良かったです」

○住吉鍼灸院

東京都江東区住吉 2-6-3

白川ビル1F

電話 03・5600・2522

(完全予約制)

丹羽先生と志を同じくし、獣医
用SODの開発者でもある長瀬雅
之先生。長瀬先生のもとにはほ
かの動物病院から匙を投げられ
たアトピー性皮膚炎や膠原病、
がんなどの難病のワンちゃん
やネコちゃんが多く訪れていま
す。先生はいつも、飼い主さん
たちが納得いくまで症状、治
療法、健康管理などについて時
間をかけて、ていねいにお話し
してくれます。2回目の今回は
アトピー性皮膚炎のワンちゃん

さんが登場します。長瀬先生は今回、はたしてどんな診察とアドバイスをするのでしょうか。

患者さん…チャヌちゃん 4歳

(去勢オス)

犬種…チワワ

初診時 (2010年3月) の主訴:

アトピー性皮膚炎

免疫力を高めて、「去年よりは今年、今年よりは来年」という気持ちで改善を

長瀬先生 今、暑いですが、チャヌちゃんの肌の調子はどうですか？

チャヌちゃんの飼い主さん (以下Tさん) 3月頃から痒がっていますね。(痒みが) ひいたり、ひどくなったりの感じで。ちよつと脱毛もあります。

長瀬先生 この子はアトピーで、花粉やハウスダストの影響を受けやすいため、春先から今の時期にひどくなりやすいんですね。でも、これは季節的なもので、おつらいでしょうが耐えてください。今の時期、もし楽になるんだったら、皮膚の二次感染を防ぐ抗生物質や

抗アレルギー剤を飲んでみるのも手だけれども、耐えられるんだったら薬は服用せずに耐えてみたほうが良いですね。基本は、皮膚・耳にハッチャンリンス(※ジェナー動物クリニックオリジナルの皮膚・耳の消毒・洗浄液)をして、保湿剤を塗ってケアしてください。し

**ジェナー動物クリニック院長
長瀬先生の
私の診察室
より**

第2回



塗って、それで様子を見ました。5月の頃でした。
長瀬先生 痒がり始めたのはそれからですか？

Tさん いえ、3月くらいからですね。草木の芽が吹き出るくらいから、だんだん痒がり、あつという間に皮膚が真っ赤になりました。
長瀬先生 今はだいぶ慣れてきましたか？

Tさん ちよつと前まではカラー(※プラ製の頸に巻くもの、舐め掻きを防ぐ)をしないとひどい状態でしたが、ここ1週間はカラーをはずしても皮膚を掻く回数は減ったようです。

長瀬先生 やつと身体が慣れてきた状況ですね。3月から痒がり始めるということは、花粉アレルギーもあるんでしょうね。

かし、あまりにも皮膚が赤く、出血するまで掻いてしまうなら、ステロイドと抗生物質の合剤を塗ってもかまいません。
Tさん 先生にお守りとしていただいたステロイド剤を、本当に皮膚が真っ赤になった時にちよつと

Tさん 以前、他の動物病院でアレルギーの血液検査をした時は、花粉アレルギーはなかったんですが。
長瀬先生 でも、花粉アレルギーがあるかどうかは実はそれほど重要なことではありません。もし、根幹治療をするのであれば、そう

した情報は必要になります。簡単に言うと、ハウスダストが原因だったら、ハウスダストを少しずつ注射してあげる治療法、いわゆる減感作療法です。減感作療法は、アレルギーの原因物質をあえて身体に入れるわけですから、当然ながらひどい症状になります。しかも、このひどい状況がいつ終息するか見当が付かないため、「一向に改善しない、ずっとつらい、いつまでこの苦しみが続くのか？」とお感じになられると思います。したがって、今の生活環境の中で、アレルギーの原因となるアレルゲンと自然にお友達になることこそが自然減感作、すなわち免疫を獲得することなのです。

しっかりとチャヌちゃんの免疫力を高めて、「去年よりは今年、今年よりは来年、徐々に改善するように」という気持ちで健全に生活することが大切です。それが嫌なら、ステロイドや免疫抑制剤をしっかりと使うしかありません。

Ｔさん ステロイドを内服すると痒みが治まるのはとても早いですよね。

長瀬先生 魔法の薬です。しかし、その切れ味に見合う種々の副作用もあるんです。チャヌちゃんは今までステロイド治療を受けたにもかかわらず、まったく完治せず、むしろアトピー症状が悪化したので、今はステロイドに依存することなくある程度の痒みは耐えなければいけませんね。もしかしたらチャヌちゃんはステロイドを服用しなければ、5歳頃までにはアトピーが治るはずだったかもしれません。ですから、「アトピー治療にはノン・ステロイド」が基本だと思えます。仮にアトピーが重度の場合も、ステロイドではなく抗生物質や抗アレルギー剤の内服と、外用に最低限のステロイド合剤を使うのが良いですよ。ただし、毎日の食生活がしっかりといることが大前提です。

ワンちゃんには良質な油が大切

長瀬先生 ところで、手作りごはんは今どうしていますか？ シン油はきちんと入れていますか？

Ｔさん はい。

長瀬先生 今あげているお肉は？

Ｔさん 豚の赤身です。鶏肉も時々あげています。

長瀬先生 炭水化物は？

Ｔさん 白米、かぼちゃ、サツマイモです。野菜はチンゲン菜などです。手作り食にしたら、お水をまったく飲まなくなりました。それが食事の水分があれば大丈夫だからですか？

長瀬先生 そうです。手作り食で水分は足りているということですが心配だったら、ヨーグルトをお水に溶いて飲ませてみると良いでしょう。

それでは栄養バランスが正しいか、空腹時採血をします。

・・・・・・・・・・・・・・・・

長瀬先生 (耳を診ながら) 左耳はきれいですね。でも、右耳はちょっと汚れているので、後でハッチャンリンスできれいにしておきましょう。(触診をしながら) リンパ節で唯一腫れているのは、浅頸リンパ節くらいです。でもまあまあ良い状態です。来年はもっと良くなるでしょう。

血液検査の結果が出ました。脂質系ですが、中性脂肪が正常値なので正しく食べればちゃんと油を吸収してくれる身体です。単に「太りそう」という感覚だけで油の摂取を控えることは、ワンちゃんにとつてとても危険です。コレステロール値も前回50と著しく低値でしたが、今回は104に増えました(正常値は111~312)。もうちょっとです。もう少し、脂身が多いお肉にしてあげれば、コレステロール値が上がります。シン油は今の量で良いです。BUNも前回低かったです。今回は正常値になりました。やはり、お肉の量が少なかったのでしょうか。

Ｔさん BUNとは何ですか？

長瀬先生 尿に出て行くタンパク質のかすです。前回7という低値だったのが、適正値の15.8(正常値は9~29)になりました。今後は、豚の赤身肉をやめて、豚こま肉にしてあげてください。豚こま肉は赤身と脂身が1対1で入っていて、タンパク質と脂質のバランスが良

いんです。大切なのは、今のお肉の量で豚こま肉をあげるとまたタンパク質不足になるので、豚こま肉の場合の量は今までの赤身の約2倍量です。これを野菜といためてあげてください。チャヌちゃん

の体重は2.46キログラムですから、豚こま肉の量は一日46グラムです。さらに豚こま肉に変更したことで、

シソ油の量は、今までの量から当然減らさなくてはなりません。豚こま肉の油は皮膚の再生を促す油

で、シソ油はアトピーによる皮膚炎を鎮める油です。この2つの油をバランス良く摂取することが、アトピー治療で最も大切なポイントなのです。

油は皮膚代謝に深く関係しています、カサカサ皮膚を良くするためには質のいい油を摂取しなければなりません。ヒトのアトピー治療では、主として植物油を絶つこと

があるのですが、アトピーのワンちゃんは油を絶てば余計悪くなります。ただし、おやつなどに含まれるような酸化油は禁物です。フ

レッシュで質の良いシソ油と豚油

をバランス良くしっかりと取り入れることが大切です。

血液タンパク値も前回と比べて5.0から6.2と正常化したので（正常値5.0〜7.2）、今のお肉の量は適正です。白血球は10400（正常値は6000〜17000）です

から正常範囲内です。リンパ球の比率が多いような気がしますけど、まあ大丈夫でしょう。血小板もちよつと高めですが、これは遺伝的な素因もあるかもしれません。

アトピー症状が落ち着くまでは「免疫に余計なことはさせない」

長瀬先生 以上の検査結果から、

これからの食事はアミノ酸、ビタミン、ミネラルに富むタンパク質に変更していきましょう。豚の赤身と鶏胸肉だけでは、栄養的に少し寂しいのです。豚こま肉、豚レバー、プレーンヨーグルトにしま

しょう。炭水化物はサツマイモでも良いのですが、食物繊維が多いため、カボチャと白米の方が適しています。ワンちゃんの腸管は、ヒトと比べて短いため、食物繊維

が苦手です。そして、シソ油をたらすというレシピでいきましょう。

そして、できるだけ「ノン・ステロイド」の初志貫徹で皮膚をちゃんとケアしてあげることです。チャヌちゃんはスキンケアがとっても

良くできていると思いますよ。すばらしいです。アトピー症状が落ち着くまでは、狂犬病予防注射は打たない（※）、ワクチンは最低限と

いった「免疫に余計なことはさせない」ことを厳守してください。もし、混合ワクチンを接種する場合は、寒くなつてからにしましょう。

久しぶりにチャヌちゃんを診させていただいた印象は、Tさんが



ワンちゃんのアトピーを克服するには、規律ある生活を基盤として、なるべくステロイド剤を使わないこと、最低限のワクチン接種にとどめることですよ

思っているよりアトピー症状はひどくないということです。それはTさんが日々頑張っている証拠でもあります。きちんとしたケアをしてあげれば、ちゃんとチャヌちゃんの体は反応してくれるんですよ。

（診察した日 2011年7月中旬）

（※）飼い主は年に一度必ず飼い犬に狂犬病予防注射を受けさせることが「狂犬病予防法」で定められています。ただし、病気や高齢など獣医師が予防接種を猶予した方がよいと判断した場合には、この限りではありません。その場合には、役所・保健所で所定の手続きを取ること

でその年における狂犬病予防接種を猶予されます。

◆ 獣医師用SOD ◆

丹羽先生の「SOD様食品」を基に、長瀬雅之先生が動物用に開発したサプリメント。「安心の動物医療を考える会」の会員である獣医師を中心に多くの動物病院で利用されています。利用している獣医師からは「安全性と有効性が確認されている動物用サプリメント」として高い評価を得ています。

長瀬先生のジェナー動物クリニックでも、ワンちゃんのアトピー性皮膚炎などの難病治療や予防のために活用し、効果をあげています。

獣医師用SODは市販されていません。ご希望の方はかかりつけの動物病院にお問い合わせください。

病気にならない体にするために



人間も犬も病気にならないためには酸化しない体を作ることが大切です。丹羽療法を動物医療に応用し、難病の動物たちを救っている長瀬雅之先生は手作り食を推奨しています。ここでは、長瀬先生のアドバイスを受け、手作り食によって犬を育てる様子をレポートします。

手作り食で下痢や吐き気が見るみる改善

手作り食初心者であるKさんは長瀬先生の「愛犬のために作るほんとの手作り食！」でも紹介されている穀物や野菜をプレミックス



している「ケーナインヘルス」を活用し、それに日替わりでゆでた赤身の豚肉、鳥の胸肉、ささみ肉を加えて煮ました。さらに、それが冷えてからちぎった煮干し、そしてアマニ油をトッピングしてあげはる君に与えることにしました。すると、Kさんは2週間もたたないうちに手作り食の効果を実感することになります。まず、しげはる君は吐くことがなくなりました。ウンチの回数も減り、下痢をすることもなくなりました。それだけでなく、耳垢や目ヤニが減っ

たり、毛のツヤがきれいになるといった効果も。

ただ、長瀬先生の本の中に「ミニチュア・シユナウザーやワイヤーフォックステリアの子は正しい手作り食を与えても痩せることがある」と書かれていたことが気がかかっていました。はたして一般的な手作り食で良いのか、8月のある日、思い切って長瀬先生ご本人に手作り食の相談をすることにしました。

犬種ごとに食事内容は細かい見直しを

そこでKさんは間違った手作り食を与えていたことを指摘されたのです。

「ミニチュア・シユナウザーはほかの犬種に比べて油が必要な犬種。ゆでた肉をあげては脂が落ちちゃうでしょ。お肉はひき肉に変えて、ニンジン、カボチャを加えてテフロン加工のフライパンで炒めるよ

うにしてください。あと煮干しは必要ありませんが、アマニ油は継続して入れてくださいね。ケーナインヘルスはそのままで構いません。ですが、ケーナインヘルスは食物繊維がけっこう多いのでしばらく様子を見ましょう」

と長瀬先生にアドバイスを受けました。また、ゆるいウンチをしなくなっただけで安心しているKさんに長瀬先生は喝を入れました。今現在、しげはる君のウンチは黄土色に近い茶色ですが、目標は黒いウンチだそうです。

長瀬先生のアドバイスを受けてしげはる君の健康状態が今後どう変わるのでしょうか。

※前号で市販のドッグフードに関して不適切な表現がありました。正しくは粗悪なドッグフードに関して酸化に気をつけたいということです。すべてのドッグフードがいけないわけではありません。